

### 第3節

## 高齢者の社会的孤立と地域社会

### ～「孤立」から「つながり」、そして「支え合い」へ～

前節までで見たように、我が国は世界に冠たる長寿国であると同時に、健康寿命も世界一であり、多くの高齢者が健康で就労意欲も高く、家族や地域とのつながりを持ちながら生活している。しかし、その一方で、高齢者の中には、一人で暮らし、家族はいないか、いても行き来がまれで、隣人や友人との付き合いも乏しく、日常的な人との交流のない社会的に孤立した生活を送る人もいる。

人との交流のない生活では生きがいや張り合いを感じることがむずかしい。また、孤立死や高齢者による犯罪の増加、高齢者を対象とした悪質商法の蔓延といった問題も高齢者の社会的孤立と深く関係している。

本節では、社会的孤立に陥りやすい高齢者の特徴とその背景、社会的孤立から生ずる問題について概観し、あわせて社会的孤立を解消するための取組の方向性について考察する。

なお、ここでは、「社会的孤立」を「家族や地域社会との交流が、客観的にみて著しく乏しい状態」という意味で用いる。単身世帯でも、家族や近隣・友人との交流がある状態は「社会的孤立」ではなく、一方、家族と同居していても、家族との日常的な交流がないうえに外部の近隣・友人とも接触が乏しければ、「社会的孤立」に陥る場合もありうる。

#### 1 社会的孤立に陥りやすい高齢者の特徴

～単身世帯、未婚者・離別者、暮らし向きが苦しい者、健康状態がよくない者が社会的に孤立しやすい～

まず、内閣府が実施した調査をもとにして、「会話の頻度」「困ったときに頼れる人の有無」

「近所や友人との付き合いの程度」を家族や地域社会との交流の指標として用い、どれくらいの高齢者が孤立状態にあるのか、また、孤立している高齢者の特徴は何かを考察する。以下、①から④は、すべて60歳以上の男女を対象とした調査の結果である。

#### ①「日頃の会話が少ない」（2～3日に1回以下<sup>(注1)</sup>）者は、全体では7.9%である一方、単身世帯では3割以上

日頃の会話の頻度（電話やEメールも含む）についてみると、全体の9割以上は「毎日会話をしている」と回答し、「2～3日に1回以下」と回答した人は7.9%に留まっている。しかし世帯構成別や健康状態別等の属性別に見ると、一人暮らしや健康状態が良くない者、未婚者や離別者、暮らし向きが苦しい者では、日頃の会話が少ない人が多く、「2～3日に1回以下」と回答した人が、男性の一人暮らしでは41.2%、女性の一人暮らしで32.4%、未婚者で33.0%、離別者で27.0%、暮らし向きが苦しい人では19.3%であった（図1-3-1）。

(注1)「2～3日に1回以下」は「2～3日に1回」、「1週間に1回」、「1週間に1回以下、ほとんど話をしない」と回答した者の合計

#### ②「困ったときに頼れる人がいない」者は、全体では3.3%である一方、男性単身世帯では24.4%

「困ったときに頼れる人がいるか」について聞いたところ、全体では96.7%が「いる」と回答し、「いない」と回答した者は3.3%であった。一方、属性別に見ると、男性の一人暮らしでは24.4%、女性の一人暮らしでは9.3%が「困っ

たときに頼れる人がいない」と回答、また、未婚者では20.2%、離別者では11.3%、暮らし向きが苦しい人では10.7%であった（図1-3-2）。

は27.1%、未婚者では28.7%、暮らし向きが苦しい人では28.8%であった（図1-3-3）。

（注2）「友人との付き合いが少ない」は友人との付き合いを「していない」、「あまりしていない」と回答した者の合計

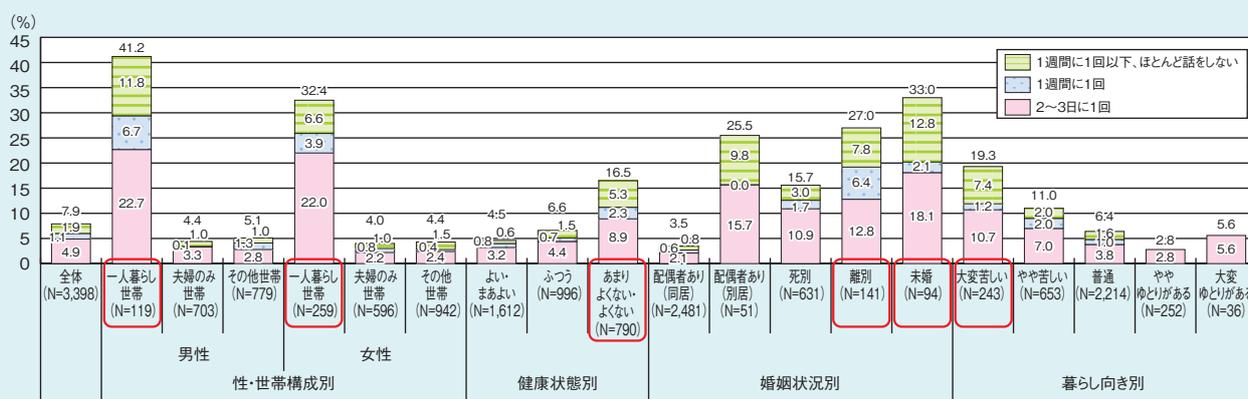
③「友人との付き合いが少ない<sup>(注2)</sup>」者は、全体では13.5%である一方、未婚者では28.7%、暮らし向きが苦しい人では28.8%

「友人との付き合い方」について聞いたところ、「友人との付き合いが少ない」と回答した人は全体で13.5%であった。一方、属性別にみると、男性の一人暮らしでは19.3%、女性の一人暮らしでは18.5%、健康状態がよくない人で

④「近所とほとんど付き合いがない」者は、全体では5.9%である一方、男性単身世帯では21.6%

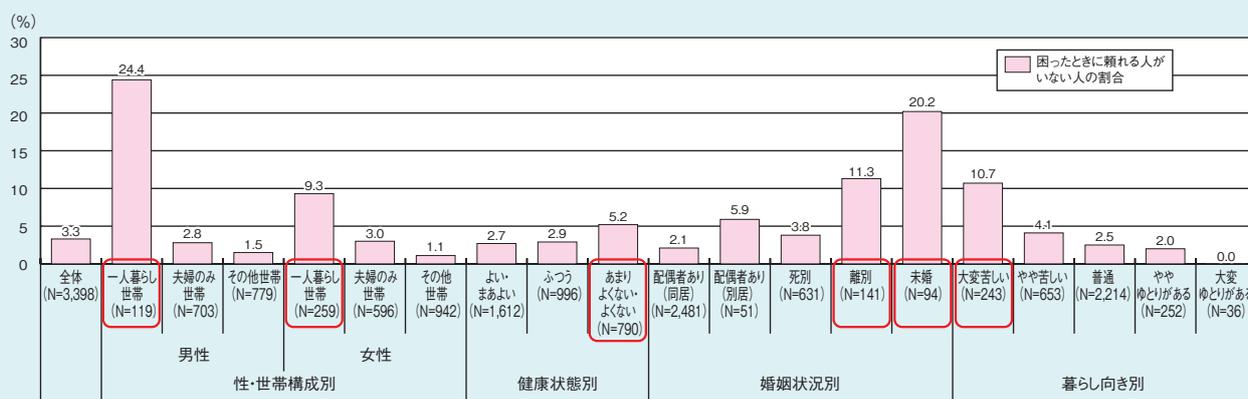
「近所との付き合い方」について聞いたところ、「ほとんど付き合いがない」と回答した人は全体の5.9%であった。一方、属性別にみると、男性の一人暮らしでは21.6%、未婚者では21.2%、健康状態がよくない人では13.9%で

図1-3-1 <会話頻度> あなたは普段どの程度、人（同居の家族を含む）と話しますか？（電話やEメールも含む）



資料：内閣府「高齢者の生活実態に関する調査」（平成20年）

図1-3-2 困ったときに頼れる人がいない人の割合



資料：内閣府「高齢者の生活実態に関する調査」（平成20年）

あった（図1-3-4）。

以上、4つの項目から60歳以上の者の実態を見ると、全体としては、「毎日会話がある者」、「困ったときに頼れる人がいる者」、「友人・近隣との付き合いがある者」がそれぞれ9割前後であり、総体的には家族や友人・近隣との交流が図られている。

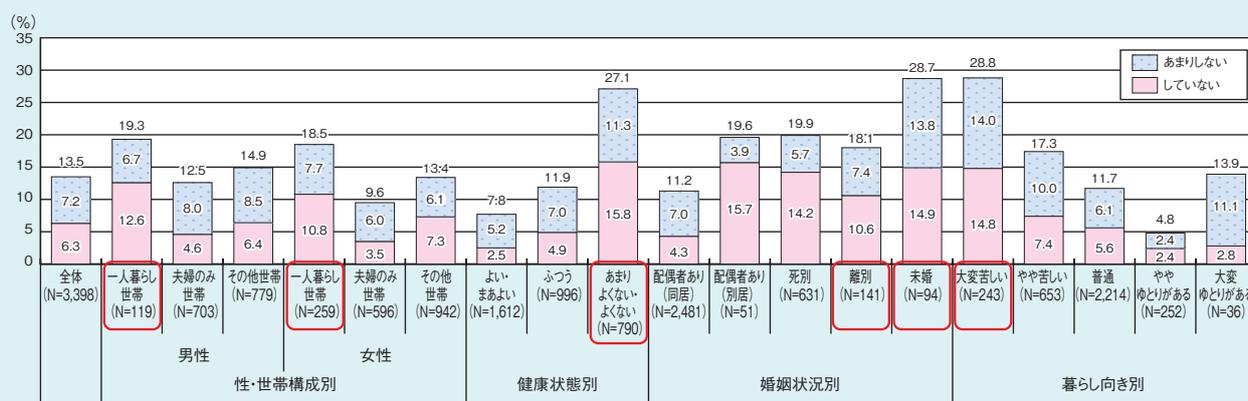
しかし、属性別に分析すると男性の一人暮らしでは、「日頃の会話が少ない者」が5人に2人以上、「困ったときに頼れる人がいない者」が約4人に1人、「近隣との付き合いがほとんどない者」が5人に1人以上と社会から孤立している者が多い。女性の一人暮らしでは男性の

一人暮らしほどではないが、他の世帯と比較すると孤立している者が多く、特に「日頃の会話が少ない者」は約3人に1人となっている。

婚姻状態別では、未婚者は孤立している者が多い。未婚者では「日頃の会話が少ない者」・「友人の付き合いがない者」は約3割、「困ったときに頼れる人がいない者」・「近隣との付き合いがほとんどない者」は約2割であった。また、離別者も孤立している者が多く、死別者と比較すると、「日頃の会話が少ない者」の比率は約1.7倍、「困ったときに頼れる人がいない者」の比率は約3倍、「近隣との付き合いがない者」の比率は約1.6倍であった。

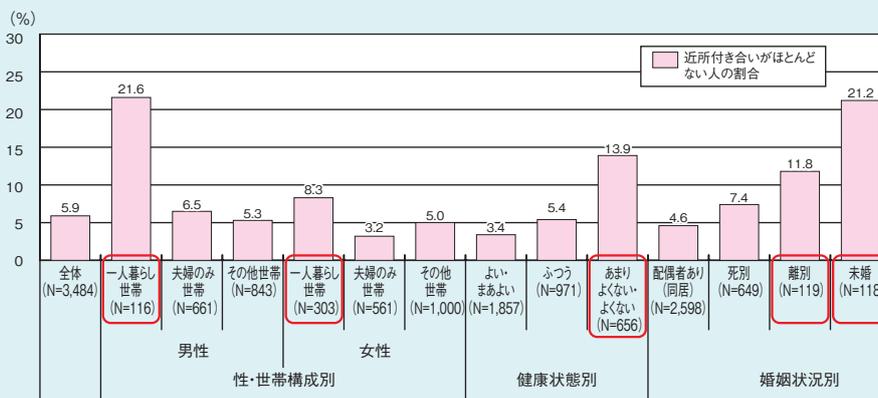
また、健康状態がよくない者や暮らし向きが

図1-3-3 友人との付き合いについて



資料：内閣府「高齢者の生活実態に関する調査」(平成20年)

図1-3-4 ふだん、近所の人との付き合いがほとんどない人の割合



資料：内閣府「高齢者の地域におけるライフスタイルに関する調査」(平成21年)

苦しい者についても孤立している人は多く、特に「友人との付き合いがない者」が3割弱に達しており、全体と比べて非常に高くなっている。

## 2 高齢者の社会的孤立の背景

高齢者が、家族や地域とのつながりを持たず、社会的に孤立する背景について考察する。

### (1) 世帯構成の変化

#### ～高齢者単身世帯の増加～

#### ① 高齢者単身世帯・高齢夫婦世帯の増加

単身世帯は、同居家族がないので、友人や地域の人との付き合いがなければ孤立しやすい。また、高齢夫婦世帯は、夫婦がそろって健康の間はよいが、どちらかが亡くなったあと、子どもと同居しなければ単身世帯となる可能性が高い。

65歳以上の高齢者のいる世帯の世帯構成をみると、三世代世帯が減少し、単独世帯・夫婦のみ世帯が増えており、世帯構成の観点からみた社会的孤立のリスクは高まっているといえる（図1-2-1-1を参照）。

#### ② 婚姻率と離婚率の変化

婚姻率と離婚率も変化している。婚姻率は昭和22年の12.0（人口千対）をピークに長期的には低下しており、一方、離婚率は平成14年をピークに低下しているものの長期的には上昇傾向にある。未婚者・離婚者は、既婚者に比べて単身世帯になりやすいことから、社会的孤立のリスクが高い。現時点での高齢者に占める未婚者・離婚者の比率はそれほど高くないが、近年の婚姻率の低下、離婚率の上昇が、今後の高齢者の孤立を深刻化させる可能性がある（図1-3-5、1-3-6）。

### (2) 雇用労働者化の進行

就業者に占める雇用者の比率は長期的に上昇を続けているが、自営業者や農業従事者に比べると、企業に雇用されて働く労働者は、職住が分離し地域との結び付きが浅い傾向にあることから、雇用労働者化の進行が一因となって地域の間人間関係が希薄化し、高齢者の社会的孤立の要因となっている可能性がある。

### (3) 生活の利便性の向上

家族関係や近隣関係が希薄化した要因の一つとして、家族や地域の人たちと交流をしなくても、生活が成り立つようになったことがあげられる。心身ともに健康なうちは、市販の商品やサービスを利用すれば、衣食住について物質的に困ることなく暮らすことができる。このため、高齢になり、健康上の理由などから生活に不便が生じ、市場で購入できる財・サービスだけでは暮らしが難しくなったときに、頼れる人がいないという事態が生じやすくなっている。

### (4) 暮らし向きと社会経済的境遇

世帯の暮らし向きと社会参加の度合いには、一定程度の相関関係が見られ、暮らし向きが苦しい人については、会話が少ない、友人づきあいをしていない、頼れる人がいない者の比率が高い（図1-3-1～3）。

また、高齢者の現時点の経済状態だけでなく、その経済状態に至るまでの社会経済的境遇も孤立状態を生む要因になっている可能性があり、安定した就労、居住や家庭生活を通じた人間関係が長期にわたって阻害された結果が、高齢期の社会的孤立と低い経済状態として表面化したケースもあるものと考えられる。